

市川和広 県議会レポート

ダイジェスト版



代表質問

令和6年6月20日

市川の質問項目

■地域活性化につなげる取組について

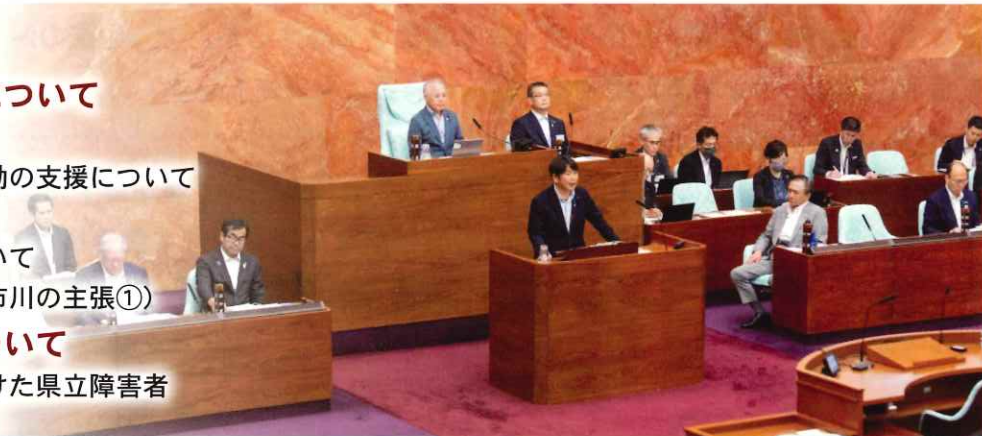
- ふるさと納税について
- 地域活性化につなげる文化芸術活動の支援について
- 国際園芸博覧会の取組について
- 水素社会の実現に向けた取組について
- 海水浴場等の安全対策について（市川の主張①）

■共生社会を推進する取組について

- 当事者目線の障害福祉の実現に向けた県立障害者支援施設の方向性について
- パーキング・パーミット制度の導入について
- ビジネスケアラーについて
- 県立高校における海外経験や留学への支援について（市川の主張②）

■県政の諸課題について

- ヘルスケア・ニューフロンティア政策の今後の展開について
- 未病改善に向けた取組について
- 地域防災力の要である消防団の活性化に向けた支援について
- 戦後80年に向けた取組について
- 収入証紙制度の見直しについて（市川の主張③）



市川の主張 1

『今まで海の安全を善意で担っていただいていたライフセーバーの在り方についても考えていく必要がある』

市川和広 副団長

「これまでの海岸の安全対策の経験を踏まえ、この夏の海水浴場等の安全対策にどのように取り組んでいくのか、見解を伺う。」

黒岩知事

「先進技術を用いた安全対策を、より多くの海水浴場に取り入れていただくため、ライフセーバー向けのドローン講習会を実施するなど、水難事故から「いのち」を守る取組をしっかりと進めてまいります。」



市川の主張 2

『一人でも多くの生徒が留学できるよう、
県独自の留学費用の支援策を早期に検討を』

市川和広 副団長

「高校生の海外留学を増加させるには留学費用の支援が欠かせません。そこで、県が独自に留学費用を支援する事業を実施することで、生徒の海外留学の推進につながると考えますが、教育長の見解を伺います。」



花田教育長

「県独自の留学費用の支援についてお尋ねがありました。海外留学の推進に向けて、まずは、「トビタテ！留学JAPAN」など、既存の仕組みの積極的な活用を生徒に働き掛けていきます。併せて、留学経験者とのオンライン交流会を継続して、留学に対する機運醸成を図っていきます。こうした取組を進め、留学希望者の今後の動向を見定めた上で、県教育委員会としての支援策を検討していきたいと考えております。」

市川の主張 3

『収入証紙制度の廃止に向けては、申請される県民や事業者の方々、また、これまで収入証紙の販売を行っていた交通安全協会等の混乱を招かないよう、丁寧な説明と周知を行い進めるよう』

市川和広 副団長

「申請手数料を支払う県民・事業者の方はもちろんのこと、こうした収入証紙の販売所にも混乱を招かないよう、県としてどのように対応していくのか見解を伺う。」



黒岩知事

「収入証紙の販売を行ってきた交通安全協会や販売所に対しては、県のキャッシュレス化の方針については、これまでもお伝えしてきたところですが、今後は収入証紙の販売終了時期や残った収入証紙の取扱い等について、丁寧に説明し、混乱が生じないようにしてまいります。」

詳しくは「神奈川県議会 代表質問 市川和広 令和6年6月20日」でご検索ください。

市川 和広 PROFILE

- 昭和46年（1971年）4月8日 54歳
- 湘南台中学校 卒業
- 日本大学藤沢高校 卒業
- 日本大学法学部経営法学科 卒業
- 大和工商リース入社（現大和リース）
- 衆議院議員甘利明 公設秘書
- 藤沢市議会議員 2期
- 神奈川県議会議員 3期目当選

所属委員会 産業労働常任委員会 副委員長（自民党産業労働部会長）
共生社会特別委員会 委員 予算委員会 理事

役職

自民党神奈川県議団 副団長 自由民主党神奈川県支部連合会 副幹事長（組織本部担当）
かながわ自民党みらいカレッジ 副校長 自由民主党藤沢市連合支部 支部長
藤沢市バドミントン協会 会長 神奈川県印刷工業組合 湘南小田原支部 顧問
新林地区社会体育振興協議会 会長 神奈川県議会手話議連 事務局長
神奈川県海水浴場組合連合会 顧問

〒251-0015 神奈川県藤沢市川名2-2-3 第1えのはビル1階
電話 0466(26)4230 FAX 0466(26)4220
e-mail ichikawa-kanagawa@soleil.ocn.ne.jp

<http://ichikawa-1ch.com>

市川かずひろ

検索

